

UNIXサーバー版 バージョンアップ内容 (Ver.6.18R00 → Ver.6.19R00)

2005年11月30日
パナソニック ソリューションテクノロジー(株)

UNIXサーバー版が Ver.6.19R00 にバージョンアップされました。
変更内容は以下のとおりです。

製品情報	バージョン	Ver.6.19R00
	対応Webクライアント	GlobalFamily Webクライアント(Ver.4.00R14)

新機能

[ワークフロー]

代理者が代理遂行した場合、次インスタンスが直前者の上位者だと、代理者の上位者に書類が回付される制限がありました。本来の宛先者に回付できるように改善しました。

詳細は「GlobalFamily UNIXサーバー版 運用手順書 3.2. サーバー環境設定ファイルの変更」をご参照ください。

1つのインスタンス中に、自分宛と代理分(または複数代理分)が含まれていた場合、自分宛(または最初の代理分)だけが遂行可能で、他の代理分は遂行できない制限がありました。同時に代理遂行できるように改善しました。

詳細は「GlobalFamily UNIXサーバー版 運用手順書 3.2. サーバー環境設定ファイルの変更」をご参照ください。

[ユーティリティ]

オフィス業務システムまたはアンケートシステムを利用している場合、データファイルの抽出ユーティリティup_save実行時にOracleのexpコマンドにてオフィス業務システムまたはアンケートシステムのデータを抽出するようにしました。

詳細は「GlobalFamily UNIXサーバー版 運用手順書 9.11. データファイルの抽出 up_save」をご参照ください。

機能強化

[フォーラム]

最新投稿の会議室一覧表示処理速度を改善しました。

[ワークフロー]

ワークフロー利用不可の代理遂行者に対して、書類を回付しないように改善しました。

[基本機能]

パスワード変更画面よりパスワードを変更した場合、以前登録したパスワードと同じパスワードを設定できないように対応しました。設定した場合、以下のエラーメッセージが表示されます。

「前回と同じパスワードは設定できません。」

なお、この機能はGlobalFamily Webクライアント4.00R14以降にて利用できます。

仕様変更

[基本機能]

AD認証でログインする場合、認証IDは大文字化して比較するように変更しました。

ユーザー情報のAD認証ID登録は大文字で行ってください。

不具合修正

[メール]

システム管理者が配布コード一覧を名称順で表示している場合、「プロトコル設定内容に誤りがあります。」のエラーが表示される場合がある不具合を修正しました。

この不具合は、以下の場合に発生していました。

- 次ページおよび画面リフレッシュ選択時に、表示している最終データが削除されていたとき
- 前ページ選択時に、表示している先頭データが削除されていたとき

バージョンアップ以後は、次ページおよび画面リフレッシュでは先頭ページ、前ページでは最終ページが表示されます。

[ワークフロー]

サーバー設定で「回付書類名に通し番号を付加しない」としてあった場合、一旦起案された書類を起案者の通過・完了・削除一覧で参照すると通し番号が表示される不具合を修正しました。

なお、この不具合はVer6.10R00以降発生します。

処理中の書類が、通過書類から呼び戻しできる不具合を修正しました。

処理中の書類に対して呼び戻しを行なうと、「指定された書類は他のユーザーにより処理中です。」のメッセージが表示されるようになります。

なお、この不具合はVer6.00R00以降発生します。

AND分離・否認優先で分離中のインスタンスから遂行すると、次の宛先をスキップ(宛先未設定スキップ)して結合先へ書類が回付する場合に、結合先へ書類が回付されず現処理インスタンスがなくなる不具合を修正しました。

なお、この不具合はVer6.10R00以降発生します。

AND分離・否認優先で分離直前のインスタンスから遂行すると、分離後の宛先インスタンスをスキップ(宛先未設定スキップ)して書類を先に進めるルートが複数あると、最後のルートだけが宛先スキップされ、その他のスキップすべきルートでは宛先未設定インスタンスが現処理インスタンスとなる不具合を修正しました。
なお、この不具合はVer6.15R00以降発生します。

アンケートを実施すると、アンケート対象者の代理遂行者にもアンケート実施依頼が行われる不具合を修正しました。この不具合は、サーバー環境設定で「代理遂行者の展開」が、「1:書類回付時」になっている場合に発生していました。
なお、この不具合はVer6.16R00以降発生します。

Global APIを利用して添付ファイル付書類を起案し、ビューアーデータ保存した場合ビューアーデータの添付ファイルが表示されない不具合を修正しました。
なお、この不具合はGlobal API 4.00R05以降を使用した場合に発生します。

帳票のテキストボックスに入力した文字列をデータベースに保存し、次回同じ帳票を使用する場合にリスト表示させる機能がありますが、書類を遂行したユーザーも、書類起案時に過去入力項目として選択できる不具合を修正しました。
なお、この不具合はVer5.12R00以降発生します。

name属性が“GF_”で始まる帳票パーツを多数配置している帳票にて起案すると、「指定された帳票パーツは既に登録されています」のエラーが発生する場合があります。GlobalFamily サーバーマシンの処理能力が高い場合に発生する確率が高くなります。
なお、この不具合はVer5.12R00以降発生します。

遂行依頼メールの雛形をパス指定・ファイル指定しているテンプレートを利用して以下の操作を行ったとき、デフォルトの遂行依頼メール雛形を使用してメールを送信してしまう不具合を修正しました。

- 複数宛先が設定されているインスタンスから呼戻しを行ったとき
(呼戻し者以外に送付されるメール)
- グループ進捗画面から書類を開いて、督促を行ったとき
(現インスタンスのユーザーに送付されるメール)

なお、督促メールの不具合はVer5.12R00以降、呼び戻しメールの不具合はVer6.18R00のみ発生します。

自分宛書類一覧から遂行して完了した書類が、OR分離で未通過ルートにのみ含まれるユーザーから参照できない不具合を修正しました。Ver6.19R00にバージョンアップ後完了した書類からOR分離で未通過ルートにのみ含まれるユーザーの完了書類一覧に表示されるようになります。
なお、この不具合はVer6.10R00以降発生します。

参照または更新できないマスターテンプレートが表示される不具合を修正しました。

この不具合は、以下の条件を全て満足している場合に発生していました。

- サーバー環境設定にて「所属グループ情報への管理グループの設定をする」で運用されているとき
- いずれかのグループの管理者として設定されているユーザーにて参照したとき

- 所属グループを指定されたテンプレートで、参照権(または更新権)の指定から所属グループを削除されているとき
- 指定した所属グループの管理権限をもたないユーザーにて参照したとき

なお、この不具合はVer6.18R00のみ発生します。

参照または更新できないマスタープロセスが表示される不具合を修正しました。
この不具合は、以下の条件を全て満足している場合に発生していました。

- サーバー環境設定にて「所属グループ情報への管理グループの設定をする」で運用されているとき
- いずれかのグループの管理者として設定されているユーザーにて参照したとき
- 所属グループを指定されたテンプレートで、参照権(または更新権)の指定から所属グループを削除されているとき
- 指定した所属グループの管理権限をもたないユーザーにて参照したとき

なお、この不具合はVer6.18R00のみ発生します。

ワークフロー文書、XML形式ファイルおよびCSV形式ファイルを拡張機能有効時に保存する場合、1つの入力項目の文字サイズが32767バイトを超過していると保存できない不具合を修正しました。

なお、この不具合はVer6.00R00以降発生します。

インスタンス設定が「代理遂行に設定者の印影を使う」指定で代理遂行した場合、ビューアーファイルに監査履歴が残らない不具合を修正しました。

なお、この不具合はVer5.12R00以降発生します。

[基本機能]

ユーザー情報の所属名称を50バイトを超えて設定していた場合、GlobalFamily WindowsクライアントやMobile GatewayなどGlobalFamily Webクライアント4.00以降以外でログインすると50バイトを超えていた部分が切り捨てられてしまう不具合を修正しました。

なお、この不具合はVer6.00R00以降発生します。

GlobalFamily Windowsクライアントを利用してユーザーを削除すると、以下の情報が削除されずに残る不具合を修正しました。同じユーザーコードで再登録すると以下の情報が復活します。

- 代理遂行者
- 上位者
- グループ、テンプレート、プロセス管理者
- cc/bcc転送者
- 兼任役職情報

なお、この不具合はVer5.12R00以降発生します。

サーバー環境設定にて「所属グループ情報への管理グループの設定をする」設定になっていた場合、グループ管理者として指定したグループ配下に100を超えるグループが存在すると、100を超過したグループの所属グループ情報を管理で

きない不具合を修正しました。
なお、この不具合はVer6.16R00以降発生します。

[ツールキット]

tk_ucugの03区分を利用してユーザーを削除すると、以下の情報が削除されずに残る不具合を修正しました。同じユーザーコードで再登録すると以下の情報が復活します。

- 代理遂行者
- 上位者
- グループ、テンプレート、プロセス管理者
- cc/bcc転送者
- 兼任役職情報

なお、この不具合はVer5.12R00以降発生します。

[SMTPゲートウェイ]

他管理地域ユーザー宛のメールをSMTPゲートウェイが正しく処理できずにUser Unknownを送信者に返してしまう不具合を修正しました。接続管理地域同士でユーザー情報を持ち合わない場合に発生します。

なお、この不具合はVer6.14R00以降発生します。